

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式
キャリアデザイン学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～25	日 本 史	26～42
世 界 史	44～59	地 理	60～68
数 学	70～75		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

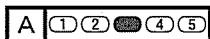
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

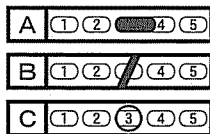
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(地 理)

〔I〕 気候に関するつぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示に従って記せ。

世界にはさまざまな気候がある。ある指標によって気候をいくつかの地域に分類することを、気候区分という。ドイツの気候学者ケッペンは、の分布に着目し、とを指標として、世界を5気候帯(A, B, C, D, E)に区分し、さらに各気候帯をいくつかの気候区に区分した。

A気候は最寒月平均気温℃以上、B気候はが乾燥限界未満の無樹木気候、C気候は最寒月平均気温℃以上℃未満、D気候は最寒月平均気温℃未満、最暖月平均気温℃以上、E気候は最暖月平均気温℃未満の無樹木気候である。標高の高い地域については、他の地域とは異なることからH気候が追加された。

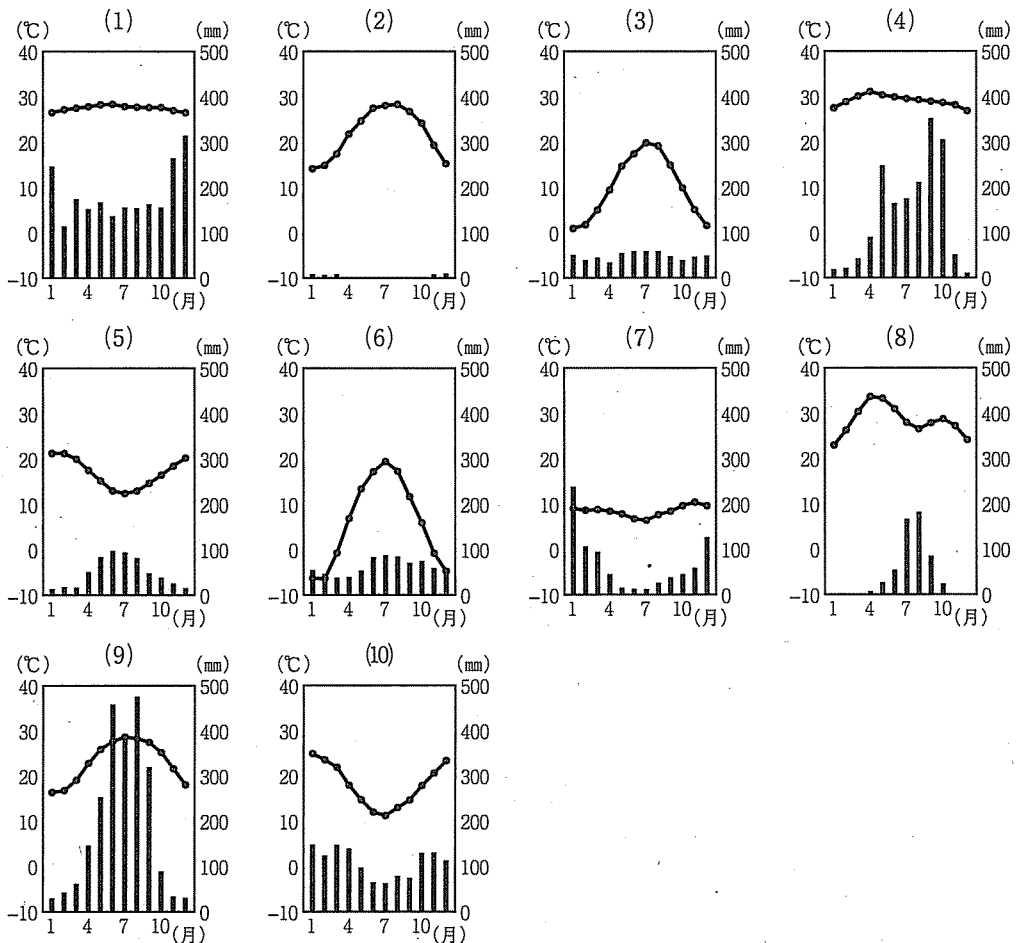
気候帯の記号が赤道から極にかけてAからEへと並んでいることも、ケッペンの気候区分の特徴の一つである。

問1 文章中の空欄～にあてはまるもっとも適当な語句を解答欄に記入せよ。

問2 下の(1)~(10)のグラフは、世界10都市の雨温図である。

(1)~(10)の雨温図はケッペンの気候区分(高山気候(H)を含む)に基づくところのように分類されるか。つぎの選択肢①~⑩からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- ① 熱帯雨林気候(Af)
- ② サバナ気候(Aw)
- ③ ステップ気候(BS)
- ④ 砂漠気候(BW)
- ⑤ 地中海性気候(Cs)
- ⑥ 温暖冬季少雨気候(Cw)
- ⑦ 温暖湿潤気候(Cfa)
- ⑧ 西岸海洋性気候(Cfb)
- ⑨ 亜寒帯湿潤気候(Df)
- ⑩ 高山気候(H)



資料：『理科年表平成29年版』、『データブック オブ・ザ・ワールド2017』より作成

地理

問3 問2の(1)~(10)の雨温図に適する都市名を、つぎの選択肢①~⑩からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- | | |
|------------|----------|
| ① カイロ | ② ケープタウン |
| ③ シンガポール | ④ バンコク |
| ⑤ ブエノスアイレス | ⑥ ベルリン |
| ⑦ ホンコン | ⑧ モスクワ |
| ⑨ ラパス | ⑩ ンジャメナ |

〔Ⅱ〕 余暇活動と観光に関するつぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。

余暇活動は、労働や日常生活を離れて、自由な時間を自分の趣味などに費やすことであり、広い意味での消費活動である。消費活動には地域性があり、 では、家計の規模が大きいので、食費支出の割合が低く、家計を多様な消費活動にあてることができる。一方、 では、家計に占める食費の割合が高く、余暇活動や消費活動が制限されている。

での消費活動に占める余暇活動の支出の割合は同じ割合でみられるが、労働時間や余暇活動に使える休暇日数に大きな地域差がある。 では、週休2日制度が定着しており、法定祝日は多いものの 付与日数は のなかでは比較的少ない。一方、ヨーロッパでは、 制度が早い段階で確立したため、そのことによって観光が大衆化する 時代が到来した。フランスや を見ると、 付与日数は に比べて多い。

ヨーロッパでは、アルプスや地中海沿岸のリゾートで長期間滞在する夏の が一般的な休暇の過ごし方である。その後、冬の も普及し、アルプス山脈ではスキーを楽しみながら休暇を過ごす人が多い。近年は、持続可能な環境保全を考えながら自然環境や文化などを体験することに主眼をおいた や都市の文化体験や街並みの見学を楽しむ などが盛んである。このような人々の観光行動の多様化によって観光産業は大きく変化した。

1980年代以降、航空運賃の低価格化などにより国際観光時代が到来した。UNWTO(国連世界観光機関)の発表によると、2015年の世界全体の国際観光客到着数は前年より5,000万人の増加となった。外国人観光客受け入れ数の国別統計(2014年)をみると、第1位は、第2位は、第3位はスペイン、第4位はである。また近年、日本への外国人の観光旅行も増加傾向にある。2004年のビジット・ジャパン・キャンペーンの展開、2012年には円安やビザ緩和の影響で観光客数は急増した。2015年は全体で1,974万人となり、^(b)前年比47.1%増、3年連続で過去最高を記録した(平成28年版『観光白書』)。

地理

問1 文中の と に当てはまるもっとも適切な組み合わせを、以下の①～④から選んで、解答欄に記せ。

- ① A 発展途上国 B 先進国
- ② A 資本主義国 B 社会主義国
- ③ A 先進国 B 発展途上国
- ④ A 社会主義国 B 資本主義国

問2 文中の と に当てはまる語句を解答欄に記せ。

問3 以下の表1は、2016年のおもな国における労働時間と余暇活動を示したものである(文中の と表の は同じ用語である)。文中の の国名を、以下の表を参考にして、解答欄に記せ。

表1 おもな国における労働時間と余暇活動(2016年)

	総実労働時間	週休日	法定祝日	<input type="text" value="(1)"/> 付与日数
(あ)	1,729	104	16	18.4
アメリカ	1,789	-	11	8.0
イギリス	1,677	104	9	25.1
(い)	1,371	104	9	30.0
フランス	1,473	104	11	30.0

『データブック・オブ・ザ・ワールド』2017年より作成

問4 文中の ～ に当てはまるもっとも適切な語句を、以下の語群①～⑨から選んで、その番号を解答欄に記せ。

- ① アーバンツーリズム
- ② インフラツーリズム
- ③ エコツーリズム
- ④ 産業ツーリズム
- ⑤ スポーツツーリズム
- ⑥ テーマパーク
- ⑦ バカンス
- ⑧ レクリエーション
- ⑨ ワーキングホリデー

問5 下線(a)について、2014年の外国人旅行者の受入数と国際観光収入額の上位4カ国を示した(文中の(う)~(お)と表の(う)~(お)は同じ国名である)。文中の

(う) ~ (お) の国名を、以下の表2を参考にして、解答欄に記せ。

表2 外国人旅行者の受入数と国際観光収入額(2014年)

国名	外国人受け入れ数(万人)	国名	国際観光収入額(億ドル)
(う)	8,370	(え)	1,772
(え)	7,476	スペイン	652
スペイン	6,500	(お)	569
(お)	5,562	(う)	554

観光庁『平成28年版 観光白書』より作成

問6 下線部(b)について、2015年の日本への外国人旅行者数を示したものである。

表3中の(ア)~(エ)の国名を以下の①~⑨から選んで、その番号を解答欄に記せ。

表3 日本への外国人旅行者数(2015年)

国名	訪日外国人旅行者数(万人)	全体に占める割合(%) ¹
(ア)	499	25.3
(イ)	400	20.3
台湾	368	18.6
香港	152	7.7
(ウ)	103	5.2
(エ)	80	4.0
シンガポール	31	1.6

観光庁『平成28年版 観光白書』より作成

- | | |
|-----------|--------|
| ① アメリカ合衆国 | ② イタリア |
| ③ オーストラリア | ④ スイス |
| ⑤ タイ | ⑥ 大韓民国 |
| ⑦ 中華人民共和国 | ⑧ フランス |
| ⑨ ベトナム | |

地理

〔Ⅲ〕 言語と民族に関するつぎの文章を読んで、以下の問いに答えよ。

言語は、人類をいくつかの集団に分けるときの指標の一つである。もっともよく知られている集団の分け方は「民族」だが、それは通常、言語をもとにして区別され〇〇人などと呼ばれることが多い。⁽¹⁾言語が同じであれば、相互にコミュニケーションがとりやすく、それらの人々の間に一体感が醸成されて、特徴的な生活様式をもつ集団が形成される例が多い。

世界には、さまざまな言語が存在し、それらは地表上では複雑なモザイク状に分布している。世界の言語の数は、3000とも5000とも、あるいはそれ以上ともいわれるが、何をもって一つの言語と認定するか厳密な基準はむずかしく、その数は定かではない。さまざまな言語の中には、使用人口数が1億人を超える大言語⁽²⁾もあれば、消滅の危機にさらされている小言語⁽³⁾もある。

近現代に成立した国民国家では、国民統合を強化する目的で、領域内の言語を標準化(統一化)しようとする傾向が強く、その過程でマイノリティなどの言語が圧迫されたり、統一化がかなわない場合でも少数の言語が公用語⁽⁴⁾に定められたりすることが見られた。

異言語話者間のコミュニケーションを円滑に行なう必要性は、国家内だけでなくさまざまな国際的組織においても見られ、そうした組織でも限られた数の公用語⁽⁵⁾を設けていることが多い。このような現実には、概して大言語使用者の数を増やすことにつながり、小言語の存在を圧迫し、世界の言語の多様性を失わせる傾向をもたらしている。

問1 下線部(1)について、言語ではなく宗教をもとにして〇〇人(あるいは民族)と呼ばれる集団の例を一つあげよ。

問2 下線部(2)について、下の表1は世界の言語を、それを母語とする人口の多い順に、また表2は、世界の言語を、それを使用する人口の多い順に、それぞれ10か国ずつ並べたものである。表中の(a)~(c)(同じ記号は同じ言語を表わす)の言語名をそれぞれ答えよ。

表1 世界の母語人口

順位	言語名	母語人口(百万人)
1	(a)	885
2	英語	400
3	(b)	332
4	ヒンディー語	236
5	(c)	200
6	ポルトガル語	175
7	ロシア語	170
8	ベンガル語	168
9	日本語	125
10	ドイツ語	100

表2 世界の言語別使用人口

順位	言語名	使用人口(百万人)
1	(a)	1075
2	英語	514
3	ヒンディー語	496
4	(b)	425
5	ロシア語	275
6	(c)	256
7	ベンガル語	215
8	ポルトガル語	194
9	マレー・インドネシア語	176
10	フランス語	129

(文部科学省のデータによる)

問3 下線部(3)について、下の文章を読んで、空欄(d)~(e)に当てはまるもっとも適当な名称を答えよ。

「世界で約2500の言語が消滅の危機にさらされているとの調査結果を、国連教育科学文化機関(ユネスコ)が19日発表した。日本では、(d)語が最も危険な状態にある言語と分類されたほか、八丈島や(e)の各方言も独立の言語と見なされ、計8言語がリストに加えられた。」

(2009年2月20日付 朝日新聞より)

地理

問4 下線部(4)について、公用語には、当初から国家を形成する民族の言語として複数の公用語を認めていたスイスのような国もあれば、国民の多数派の言語に加えて、植民地宗主国などその国がかつて勢力下におかれていた国の言語を独立後も公用語としている国もある。後者の例としてあげられる下の(f)～(h)3か国で使用されている公用語を答えよ。

- (f) カザフスタン (g) ケニア (h) 東ティモール

問5 下線部(4)について、下の(ア)～(エ)の国家と言語の組み合わせのうち、言語がその国の公用語となっていないものはどれか。一つ選んで記号で答えよ。

- (ア) アメリカ合衆国の英語 (イ) ウクライナのウクライナ語
(ウ) スリランカのタミル語 (エ) ベルギーのオランダ語

問6 下線部(5)について、下の文章を読んで空欄(i)～(l)に当てはまるもっとも適当な言語名または語句を答えよ。なお同じ記号は同じ言語名を表わす。

国際連合(UN)では、英語、フランス語、スペイン語、(i)語、中国語の5か国語を公用語として発足したが、1973年に(j)語が追加された。(k)では、原則として全加盟国の公用語すべてをその公用語としている。また、国際オリンピック委員会(IOC)では(l)語と英語が公用語になっているが、両言語で解釈の違いが生じた場合は(l)語の解釈を優先するとされている。